

**肌** 上野小学校音楽鑑賞講座  
で感じた本物の音楽

県文化団体連合会主催の芸術鑑賞講座（音楽鑑賞会）が、11月1日に上野小学校で行われました。日本だけでなくアジアやヨーロッパでも活動している「響ホール室内合奏団」が招かれ、モーツァルトやディズニーなど親しみのある名曲の数々を演奏。また、楽器に触れる体験コーナーも用意され、子どもたちにとって本物の芸術に触れる貴重な一日となりました。



↑プロの奏者から楽器の弾き方を教わり、緊張しながらも楽しそうに演奏した4人。

↓本当の意味での「絆」とは何か、自身の経験を踏まえ熱心に語った奥田さん。



**助** 2012年度福智町人権週間講演会  
け合える社会の形成を目指して

11月15日に地域交流センターで人権週間講演会が開催されました。キリスト教会の牧師で、ホームレス支援機構理事長を務める奥田知志さんを講師に招き、「絆」をテーマに講演。奥田さんは、ホームレスや東日本大震災の被災者への支援を行う中で気付いたことや感じたことを話し、最後に「互いが『助けて』と言える、支え合う社会を築きたい」と力強く語りました。

↓ソバの花が一面に咲き誇り、天気にも恵まれ、絶好の撮影日和となった会場。



**福** ソバの花フェスタ 2012  
智産のソバを舌と目で味わった一日

福智町農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が10月21日に上弁城公民館付近で行われました。福智産のそば粉を使用した「手打ちソバ」や「そば饅頭」を求めて、会場は長蛇の列ができるほどの大盛況。同時開催のソバの花写真コンテストや、特設ステージではダンスや歌謡ショーなどが披露され、今年で12回目を迎えるフェスタに花を添えました。

**異** 福智町日韓交流事業  
文化交流で国際感覚を身に付ける

上野焼の開祖・尊樞ゆかりの地である韓国泗川市の子どもたちと交流し、国際的感覚を養うことを目的とした「福智町日韓交流事業」。この事業で、町内の小学5・6年生22人が10月6日から2泊3日の行程で、韓国を訪問しました。参加者は泗川市の子どもたちと一緒に友好記念碑や九龍窯などを見学し、ジェスチャーを交えながら、異文化交流を楽しみました。



↑韓国で友情を育み、瞬間に過ぎた3日間。最後は涙ながらの別れとなりました。

↓一人でも多くの人に人権の輪が広がるよう、ひまわりの種と子どもたちの思いを乗せ、大空へと舞ったエコ風船。



**思** 金田小学校で人権教室開催  
いやりの心を風船にのせて

「人権の花運動」の本年度指定校となっている金田小学校で、11月9日に田川人権擁護委員協議会主催の人権教室が行われました。この活動は、昭和57年から全国で実施されている運動で、花の生育を通して、命の大切さや思いやりを学ぶことが目的です。来校した人権キャラクターの「人KENまもるくん・あゆみちゃん」と一緒に、手作り紙芝居で人の尊厳について学習。最後に子どもたちが栽培したひまわりの種と手書きのメッセージを添えた「エコ風船」を飛ばし、人権への意識を高めた一日となりました。

平成24年度福智町敬老会  
**長** 年の地域貢献に感謝して

長年、地域のために尽力したお年寄りの功績に感謝し、長寿と健康を祝う敬老会が10月16日の方城地区を幕開けに、23日に金田地区、30日に赤池地区で開催されました。町内在住の70歳以上の方が対象で、今年は3会場合わせて1,065人が出席。それぞれの会場で、久しぶりに顔を合わせた友人や同級生らと、これまでの健康への喜びを分かち合っていました。



↑簡単にできるエクササイズなど、趣向を凝らした出し物で盛り上がった会場。(方城)

↓子どもたちの笑顔誘う、約1haの畑一面に絨毯のように咲いた満開のコスモス。



今年も現れた白とピンクの美しい絨毯  
**今** コスモスフェスタ2012

10月23日に弁城迫地区で福智町花いっぱい運動の会主催の「コスモスフェスタ2012」が開かれ、町内外から家族連れなど約300人が来場しました。当日は「米のすくい取り」や「枝豆取り」、「サツマイモ掘り」も大好評。代表の稲富廣隆さんは「前代表の故・香月弘美さんのおかげで大成功となった。今後子どもたちの笑顔のために続けたい」と、目を細めていました。